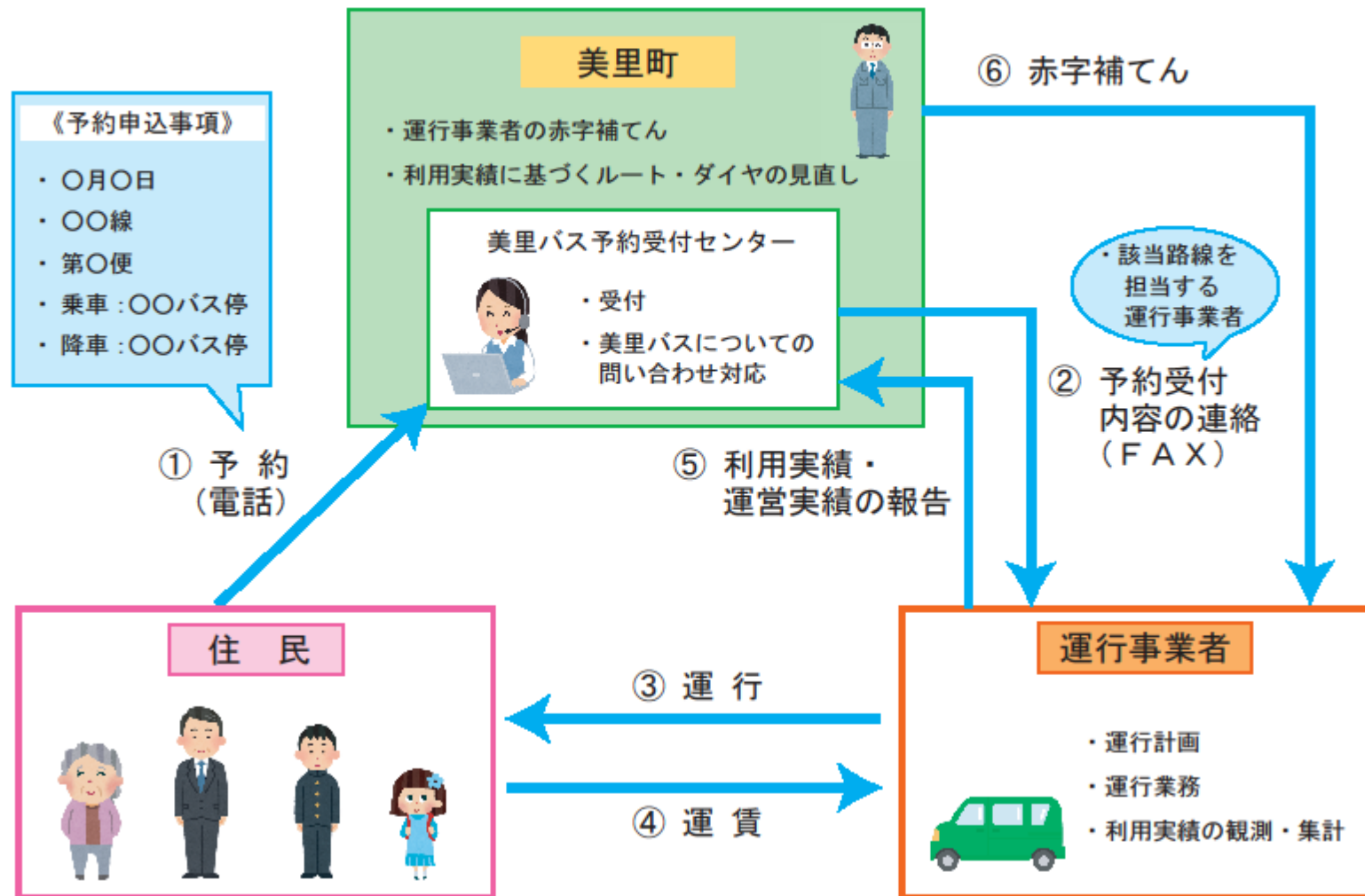


平成30年度 関連事業概要

取り組みの内容	平成30年度関連事業概要		事業スケジュール(H30)												
	事業名	事業内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
【美里バスの導入】 ◆町内の公共交通を一元化し、各集落と地区拠点を結ぶ公共交通を新たに導入する。(コミュニティバス・予約乗合タクシー・福祉バスを美里バスへ統合) 予約乗合タクシー おもやいジャンボ 福祉バス →統合 美里バス(仮)	①美里バス予約システム構築	予約の受付及び担当交通事業者への手配、利用状況等の修正等を実施するためにシステムの構築を行う ・予約入力システム ・予約連絡システム ・利用実績入力システム ・利用実績集計システム構築 (※運営スキーム別紙1)			●										
	②美里バス予約システム運用								●						
	③美里バス予約用電話機設置				●										
	④美里バス車両表示板の作成	マグネットシートに印字し車体に貼り付ける			●										
	⑤美里バス・バス停表示板の作成	A3版のプラスチック板にバス停名を印字する(約190箇所)			●										
	⑥美里バスバス停時刻表の作成	バス停毎の時刻表を作成し表示板に貼り付ける(約190箇所)			●										
【待合環境の整備】 ◆各地区拠点に待合スペースを設け、負担の少ない乗り継ぎ環境を整備する。	⑦地域公共交通拠点施設整備工事 ・佐俣の湯 ・地域ふれあいセンター ・東部出張所 ・原町駐車場	佐俣の湯、地域ふれあいセンター、原町駐車場→バス待合所設置 東部出張所→コミュニティルームを活用(※別紙2)			●										
【情報提供】 ◆わかりやすい公共交通マップや総合時刻表を作成する。 ◆乗り継ぎ拠点における利便性を高めるため、乗り継ぎ時刻表を作成する。	⑧公共交通マップ・総合時刻表の作成	路線ごとにルート及びバス停を示したマップ及び路線ごとの時刻表を作成し全戸配布 A5版冊子 6,000部			●										
	⑨乗り継ぎ時刻表の作成	各外出先に応じた乗り継ぎ時刻表の作成 A4版 2,000部			●										
【公共交通の利用啓発】 ◆高齢者を中心に公共交通の乗り方教室を開催し、利用方法の周知を図る。 ◆公共交通の必要性、利用するメリットなどを記載した利用啓発冊子を作成する。 ◆免許証自主返納者には特典授与のためのバス回数券を作成する。	⑩利用啓発教室の開催	地区拠点4箇所で乗り方教室を開催 お出かけイベントの企画						●							
	⑪啓発冊子の作成	公共交通を利用することによるメリットを記載した冊子を作成し全戸配布 A5版冊子6,000部			●										
	⑫バス回数券の作成	免許返納者への特典として配布する回数券を作成する			●										

美里バス運営スキーム（案）

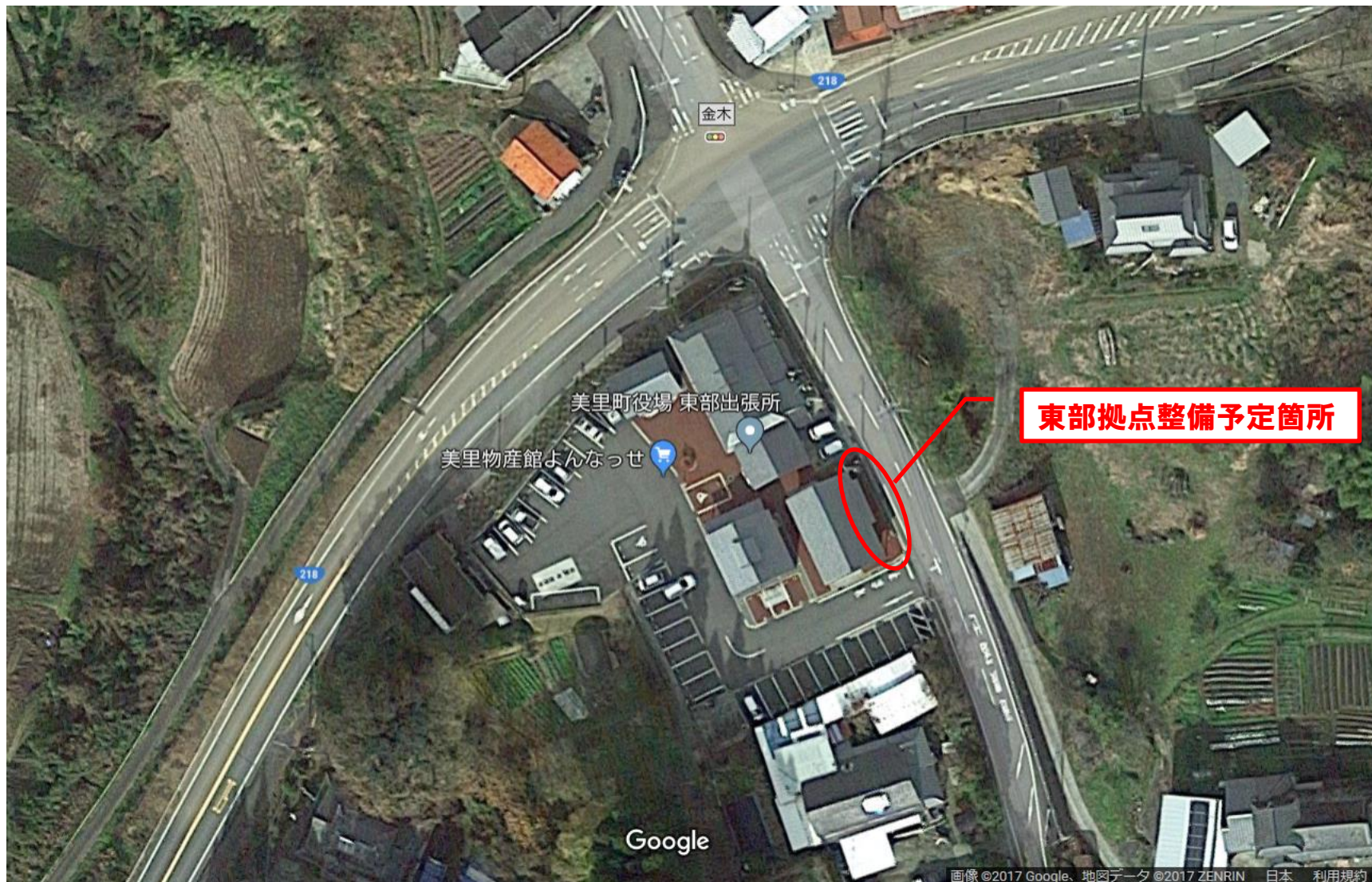




道の駅拠点現地写真 参照



中央地区拠点現地写真 参照



東部拠点現地写真 参照



砥用地区拠点現地写真 参照

新たな交通を入れることに対して入れてよいと図るのは良いと思います。今回はこの方向で進めていきます。承認いただきましたので、このまま進めていきます。